



草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
＜2019. 2. 8＞
2月号 学校ホームページ版

★最近入った本より★

内容情報	書名	著者名	請求記号
情報	メモの魔力	前田裕二	002.7-7
ことば	嫌になれるまで好きでいたいし、自分のことも好きになりたい	ニャン	152.1-1
時事問題	今がわかる時代がわかる世界地図 2019年版	成美堂出版編集部	290.3-7
	今がわかる時代がわかる日本地図 2019年版	成美堂出版編集部	291.0-7
	2019年日本はこうなる	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	304-3
	名探偵コナンKODOMO時事ワード 2019	読売KODOMO新聞編集部	304-3
	朝日キーワード 2020	朝日新聞出版	813.7-7
	〈図解〉まるわかり時事用語 2019→2020	ニュース・リテラシー研究所	814.7-1
	知っていますか?SDGs ユニセフとめざす2030年のゴール みんな幸せってどんな世界 共存学のすすめ 「居場所」のない男、「時間」がない女	日本ユニセフ協会//制作協力 古沢広祐 水無田気流	333.8-1 361.0-7 367-3
テレビ	チコッと冒険First Eternal Five CHICO チコちゃんに叱られる!ビジュアルファンブック	CHICO	699.6-7
イラスト	才能は知らないイラストで食う技術	ニリツ	726.5-1
音楽	歌コレ 2019	シンコーミュージック・エンタテイメント	767.8-9
スポーツ	MLBびあ 証言大谷翔平 大リーグを変える「天才二刀流」の素顔	びあ 野村克也//ほか著	783.7-1 783.7-1
語学	7日間完成!はじめての4技能まるごとトレーニング 2 大学受験英語 英検準2級レベル	佐々木欣也	G-830-3-2
	7日間完成!はじめての4技能まるごとトレーニング 3 大学受験英語 英検2級/TEAP受験レベル	佐々木欣也	G-830-3-3
	英検準2級面接・攻略ポイント20	アスク出版	830.7-1
	英検2級面接・攻略ポイント20	アスク出版	830.7-1
	英検準1級面接・攻略ポイント20	アスク出版	830.7-1
話題の小説	童の神 【直木賞ノミネート作・滋賀出身作家】	今村翔吾//〔著〕	913.6-1
	二ムロッド 【芥川賞受賞作】	上田岳弘著	913.6-9
	映画刀剣乱舞	小林靖子//脚本 時海結以	913.6-1
	宝島 HERO'S ISLAND【直木賞受賞作】	真藤順文	913.6-7
	約束のネバーランド 〔2〕 ママたちの追想曲	白井カイウ・出水ぽすか//原作 七緒//小説	913.6-7-2
	トラベジウム 1R1分34秒 【芥川賞受賞作】	高山一実 町屋良平	913.6-7 913.6-7
	図書館ホスピタル	三萩せんや	913.6-3
	文豪ストレイドックス外伝 綾辻行人V.S.京極夏彦	朝霧カフカ	B-9136-7
	アサシンスブライド 9 暗殺教師と真陽戴冠	天城ケイ	B-9136-7-9
	生きてさえいれば	小坂流加	B-9136-1
	錆喰いビスコ 3 都市生命体「東京」	巖久保慎司	B-9136-J-3
	ペンギン鉄道なくしもの係リターンズ	名取佐和子	B-9136-7
ロクでなし魔術講師と追想日誌(メモリーレコード)4	羊太郎	B-9136-7-4	
絵本	もっとひょっこりはんをさがせ! にほんじゅうでひょっこりしてきたよ!	ひょっこりはん	E-798-7
コミック	ダイヤのA act II 15	寺嶋裕二	M-726.1-7-15
	キングダム 53	原泰久	M-726.1-7-53

「一〇一教室」

似鳥鶏：著 河出書房新社

〈あらすじ〉

預けられた子はびっくりするほど良い子になって帰ってくると保護者の間で噂の恭心学園。しかし、校舎は高い壁に囲まれて中の様子は全く確認できないという謎であやしい高校だった。そんな恭心学園には、出来の悪い生徒は「一〇一教室」に連れていかれるという奇妙な噂があった。高い壁の中で一体何が行われているのか、一〇一教室というのは何なのか。爽やかさのダークミステリ。

〈おすすめポイント〉

この作品の舞台である恭心学園は、どんな子でも礼儀正しい良い子になると評判の学校です。そのため、校則がおそろしく厳しく、教師もすごく怖いです。自分がもしこの学校の生徒になったら...とリアルな恐怖が感じられると思います。作中の生徒達の気の狂いそうな非日常的日常に注目して読んでもらいたいです。

本derful!委員のおすすめ本

「退出ゲーム」

初野晴：著 角川書店 (角川文庫)

〈あらすじ〉

初野晴のハルチカシリーズ第1弾。主人公穂村千夏とその幼なじみ上条春太が、音楽教師草壁信二郎と吹奏楽の甲子園「普門館」を目指すのが、実力もないどころか人数も足りない。そんな2人に難題がふりかかる、青春ミステリー。

〈おすすめポイント〉

「結晶泥棒」「クロスキューブ」「退出ゲーム」「エレファンツ・プレス」の4編からなる小説で、とても読みやすいです。特に全面白色のルービックキューブの謎を解く「クロスキューブ」が面白かったです。

「君が落とした青空」

櫻いいよ：著 スターツ出版
(スタート出版文庫)

〈あらすじ〉

付き合って2年が経つ高校生の実結と修弥が、気まずい雰囲気と別れた日の放課後、修弥が交通事故にあってしまう。実結はパニックになるが、気付いたら同じ日の朝をむかえていた。何度も同じ日をすごす中で、修弥が隠していた事実が明らかになる。

〈おすすめポイント〉

はじめは少し気まずい感じの二人だったけど、同じ日をくり返していく中で、実結が修弥が隠していた思わぬことを知っていき、とても心温まるストーリーでした。しかし、二人の関係が良くなっていったにも関わらず、とても切ない結末が待っていて、涙なしには読めない本だと思います。

「夜の国のクーパー」

伊坂幸太郎：著 東京創元社
(創元推理文庫)

〈あらすじ〉

目を覚ますと私の胸に猫が乗っていた。その猫トムが話し出したのは、戦争が終わった後に起きた出来事だった。これは猫と戦争とそして、世界の秘密のお話である。

〈おすすめポイント〉

この話は猫のトム、私、戦争に負けた国の3つの視点から描かれます。この物語は中盤にかけてたくさん伏線が出てきて終盤に一気に回収するので、伏線を意識して読むとより楽しむことができます。

『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』

図書館。図書室。読書。これらは私の学生時代の思い出のどの場面にも出てこないものだ。小学校中学年からサッカーを始め、暇さえあれば近くの公園に行っていた。当時はJリーグ創成期で、キングカズこと三浦知良や当時の日本代表エースのラモス瑠偉らに憧れていた。彼らになりきって、頭の中で自ら実況しながら、まるで大観衆の前でプレーしているかのようにボールを蹴っていたのを今でもよく覚えている。こんな調子で中学、高校もサッカー中心の生活を送り、読書といえば国語の授業で教科書を読む程度だったと思う。さすがに大学に進学してからは、専攻科目の専門書や英語の本を読む機会も増えたが、あまり好んで読むというのではなかった。読書を進んでするようになったのは教師になってからだと思う。小説も東野圭吾さんや重松清さんの作品を好んで読んだが、どちらかという自己啓発本やエッセイ本、そしてサッカーに関わる書籍をより多く読んできた。

今回は私の浅い読書歴において、ある習慣を身に付けさせてくれた本を紹介したい。もうすでに知っている人も多いと思うが、『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』(長谷部 誠：著 幻冬舎)である。著者は、昨夏のロシアW杯の日本代表チームでも不動のキャプテンを務めた長谷部 誠選手。代表チームを自ら退いた後も、所属チームのフランクフルト(ドイツ1部)で中心選手としてプレーし、そのリーダーシップやサッカーに取り組む真摯な姿勢で監督はもちろんのこと、チームメイト、さらにはサポーターからも圧倒的な信頼を得て、チーム最年長(35歳)ながらチームには欠かさないアンタッチャブルな地位を確立している選手である。本のなかで彼はサッカー選手としてのキャリアを築く前後で、心を整えるために大切にしてきた56の習慣を紹介しているが、私は次の2つの習慣に関する話が特に心に残っている。1つ目は「運とは口説くもの」で、彼は傍から見ると運よく何か良い結果を手にしたように思える時でも、ただ単に「運が良かった。」のではなく、それに見合う準備や努力をしてきたからだと考える。だから逆に、思うような結果が出なかった時は、「運が悪かった。」のではなく、運を味方につけるような努力ができなかったからだと考える。失敗しても思考のベクトルを他人や他のものに向けるのではなく、常に自分に向け、満足のいく結果が得られるまで自己を高め、全力を尽くすという前向きな姿勢が私の心のアンテナに引っ掛かり、この思考習慣を真似したいと思った。ちなみにスペイン語で「運」は女性名詞らしい。アルゼンチンでは、努力せずに振り向いてくれる女性なんていないのだから、運も努力して口説かないといけないということわざがあるようだ。やりすぎると女性には逆効果でも、運には好かれるのかな。

2つ目は「読書ノートをつける」で、彼は忘れっぽいがために、印象に残った文は、それを読んで感じたことや考えたことと一緒にノートにメモをしているそうだ。こうすることで、本を読み返す手間を省き、持ち運びも便利である。私も忘れっぽいところがあり、この習慣も早速真似した。今回、この原稿を書きながら自分の読書ノート(と言ってもメモ帳程度)を読み返してみた。

誰もが「自分はやるべきことをやっている。」「一生懸命やっている。」と思っている。
しかし、「当たり前」と思っていることのレベルは各人違う。
その小さな積み重ねの差が、5年後、10年後には圧倒的な差になっていく。(あるビジネスコンサルタント)

学ばない者は人のせいにする。
学びつつある者は自分のせいにする。
学ぶということを知っている者は誰のせいにもしない。
僕は学び続ける人間でいたい。(現役プロサッカー選手 三浦 知良 52歳)

「学ぶ」ことはまずは「真似る」ことだと思う。みなさん自身のお手“本”を探しに、図書室に足を運んでみては。

♪読書マラソンおすすめ本♪

本校図書館で行っていた「読書マラソン」より、書評賞に輝いた本&おすすめコメントを紹介します。

『マスカレード・ナイト』

東野圭吾/著 集英社
＜おすすめ人：まっちゃん。＞
最後まで分からない度 ★★★★★☆

どんな本？

ホテル「コルテシア東京」のカウントダウンパーティーに殺人犯が現れるという密告が届いたところから始まるミステリーです。

感想・コメント

ホテルに出てくる客がとても個性が強くおもしろいです。例えば、プロポーズをして振られ、その翌日また別の女性に恋をする人や、プラスチックのケーキを作ってほしいと頼む女性などです。犯人が誰なのか！とおもって読むのもいいと思いますが、ホテルの客たちを楽しむのもいいと思います。

本の輪を広げよう！
読んで良かった本のおすすめコメントを書く「読書マラソン」
次回も応募をお待ちしています！

卒業イベント等に

図書館にはいろんな本がありますよ！ぜひ参考に。図書委員が選んだおすすめ本コーナーも見てね♪

『ジョーカー・ゲーム』

柳広司/著 角川書店
＜おすすめ人：きょうちまる＞
予想がひっくり返る度 ★★★★★

どんな本？

結城中佐の発案で陸軍内に設立されたスパイ養成学校「D機関」。そしてそのスパイたちが世界中で暗躍していく……。

感想、コメント

1度読んだことがあり、内容を忘れてしまっていたので読み返してみると、やっぱりおもしろかったです。特に「ロビンソン」の話は、上にもありますが予想がひっくり返ります。騙し合いというよりは、究極の読み合いのように感じました。相手の性格をよく把握し、相手の動きや考え、これから起こると想定されることをすべて完璧に読む。結城中佐はそんな人物で、読んでいてすごいと思うことばかりでした。「見えない存在であること」「人を殺すことは最悪の選択肢」「とらわれないこと」この教えを守り強い自尊心と自負心を持つスパイたちが臨機応変にこなす任務、その裏でそれを指示する結城中佐。読み終わった時、「ああ、かっこいいな」と思うと思います。

お菓子作り、花束
&ラッピングの本
あります